

令和6年9月20日

白河市教育委員会

9月定例会会議録

令和6年9月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年9月20日(金)
開 会 午後3時
閉 会 午後4時30分

場 所 白河市役所 正庁

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

議 事

- 議案第41号 中山義秀記念文学館の臨時休館について
- 議案第42号 図書館の臨時休館について

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 高橋 顕 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 欠席委員 なし

○ 出席説明員

教 育 部 長	佐藤 伸	教 育 総 務 課 長	鈴木 亮
学 校 教 育 課 長	仁科 英俊	生涯学習スポーツ課長	吉田 貴子
中 央 公 民 館 長	松本 美紀	図 書 館 長	中沢 孝之
健康給食推進室長	和知 秀年	学 校 教 育 課 主 幹	上野 康生

○ 書記

教育総務課総務係長 鈴木 一寿 教育総務課主査 大塩 健一

○ 傍聴人 なし

【午後 3 時 開会】

日程第 1 開 会

○教育長

これより令和 6 年白河市教育委員会 9 月定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

次に日程第 2 会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に日程第 3 書記の指名を行います。書記には教育長において、鈴木教育総務課総務係長、大塩教育総務課主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

次に日程第 4 教育長報告に入ります。それでは、私から報告いたします。

後ほど全国学力・学習状況調査の結果について担当よりご説明申しあげますが、児童生徒の学力を高めるには教師の指導力の向上は欠かせません。そればかりでなく、様々な考え方や生き方など人としての成長に教師の存在は大きく関わってきます。

9 月 1 8 日（水）にみさか小学校で県教委主催の道徳科授業充実パワーアップ研修会が全県の指導主事対象に開かれ、6 年生の担任が道徳の授業を行い研修を深めたところです。

また、本年度の市内の授業研究会は 1 0 月 2 5 日（金）に白河三小で、1 1 月 1 5 日（金）に白河二中で、1 1 月 2 2 日（金）に白河二小で行われます。市内の先生方も授業を参観し研修をしますが、研究公開を通して教員の資質を高めたいと思います。また、さらに各学校の校内研修がより充実するよう校長会議で指導してまいります。以上です。

日程第 5 議 事

○教育長

次に日程第 5 議事に入ります。それでは、議案第 4 1 号「中山義秀記念文学館の臨時休館について」を議題とします。内容の説明を求めます。

○生涯学習スポーツ課長

議案書 1 ページをご覧ください。中山義秀文学賞第 3 0 回記念事業を開催することから、

中山義秀記念文学館条例第5条の規定により、令和6年11月10日（日）を臨時休館とするものです。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

（ 質疑なし ）

○教育長

これにて質疑を終了いたします。これより採決いたします。議案第41号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（ 異議なしの声 ）

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

次に議案第42号「図書館の臨時休館について」を議題とします。内容の説明を求めます。

○市立図書館長

議案書2ページをお開きください。白河市立図書館規則第6条第2項の規定により、次のとおり図書館を臨時休館といたします。理由といたしましては、議案第41号の説明のとおり中山義秀文学賞第30回記念事業開催のためとなっております。対象施設は大信図書館、日時は議案第41号と同じく11月10日（日）を予定しております。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

（ 質疑なし ）

○教育長

これにて質疑を終了いたします。これより採決いたします。議案第42号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（ 異議なしの声 ）

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第6 各課所報告

○教育長

次に日程第6「各課所報告」に入ります。それでは、行事報告、行事予定について、教育総務課から順次報告をお願いします。

(教育総務課から順次報告)

○教育長

次に「白河市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針（案）のパブリックコメントについて」の報告をお願いします。

(学校教育課長 報告)

○教育長

それでは、これより一般質問に入ります。各課所報告及び本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○高橋委員

先日行われました福島県市町村教育委員会連絡協議会の研修会に参加して、施設設備の管理をテーマとした分科会に入り、専門的な通知、通達についての内容や、細かい数字的なもののお話がありました。その中で、白河市の取組みに対して理解している自治体がありまして、学校のLED照明のリースのことについてとか、コミネスか図書館のどちらかだったかなと思いますが、そういうことについての建設から維持管理について、非常に白河市はコストが低く抑えられるようなやり方をしているということで、非常にすぐれた取組みではないかということで、褒めの言葉をいただいたんです。同じグループに他市の施設関係の係長さんがいらっしゃっていて、LEDのことについて詳しく聞きたいと言っていました。自分の地区では負担がかかり過ぎてかいるから、白河市のリースでの取組みを知って、白河市のように取り組みたいなということをおっしゃっていました。そういうふうないい取組みをいただいていること、本当にありがたいなと思いました。他市町村の方に白河市の取組みに対して関心を持ってもらい、いい意味で見えていただいているってことで、皆様方の取組みがすごいことをやっているんだってことを改めて認識させていただいたということで、とても素晴らしいと思っています。

○教育部長

学校関係もそうですし、スポーツ施設関係についても、特に水銀灯を使っている施設については、電力の効率も大変良いことと、あと水銀灯自体の製造がなくなるということも含めて、国内の体育館関係、それから屋外の運動施設の夜間照明については、LED化を進めて

いるところですが。その中で、ものによっては指定管理者の方でリース契約を組んだりとか、効率的な方法をとることで、単年度の負担ではなく分散した費用負担なんかも図っているところになります。

○沼田委員

私も同じく8月27日の研修会に参加させていただいた感想について話をしたいと思うんですけども、私が参加させていただいたのは、GIGAスクール構想の分科会、4人のグループだったんですが、最初に疑問点とか聞きたいことなどあればということだったんですけども、最初の疑問点の時点で、これは話している議論が全然違うっていうことに気づきまして、私の子どもが通っている学校では、あまりタブレットが使われていない状況があって、使う授業と使わない授業があって、その度にしまったり出したりしているみたいだし、全然持って帰ってやっている様子はないんですけども、他の学校ではどうですかっていうような質問をしたんですが、他の市町村で、朝からずっと机の上に出しっぱなしで、家に持ち帰っているっていう学校もあって、そちらの市町村からタブレットを使っていることに対して、使っていないときと使っている現在とでは、どのぐらい学力が上がったのかっていうような、そういう統計は取っていますかという質問があったんですけども、もう大前提が全然違って議論にならなかったなっていうことがありまして、そこで白河市では使っていないわけではないと思うんですけども、どのようにタブレットを授業の中で使用していくかというのを指導しているのかなっていうのは、すごく疑問に思いました。iPadで、すごく性能がいいのに、どれだけいっぱい使われているのか。それと耐用年数がありますよね。最初の導入自体は国だったと思うんですが、今度市町村とかにも負担がってなったときに、何か今の現状の使われ方ではちょっと無駄が多いんじゃないのかなと思ったので、そのあたりはどうなっているのかなと思って質問したいなと思いました。

○学校教育課長

1人1台タブレットを使っていて、それぞれの学年によっても使い方は違うんですけども、最初はなんでもかんでもタブレットみたいな、そういうところもありましたが、使っているうちに効果的な使い方と、やはり今までどおり書くっていう力と、その両方が必要だっていうことで、その辺は各学校の取組み、そういうところに任せているところはあります。中学校は持ち帰っている学校も多いですが、小学校は重いので、そういうこともあったりして、使い方は学校によってまちまちのところはあります。授業の進め方によって使った方がいい場面と、やはり今までどおりという場面と、あとは教科によるところもあるので、全部をタブレットっていうわけにはいかないですが、そういう効果的な使い方については、いろんな場面で議論をしていっているところです。

それと切替えについてですが、そろそろ切替えの時期になってくるころでありますので、それもある程度国とか、県のお金だとか、それ以上になってくると市の持ち出しも出てくるかもしれませんが、そういうかたちで計画をして、取り組むというところになってくると思

います。あと iPad は性能がいいんですけど、あまりたくさん容量ではないので、いろんな種類があると思うんですけど、予算の関係上、金額である程度そろえて買ったものなので、ですから何でもかんでもアプリも入れられるっていうわけではなくて、そういうところもあって、その内容に応じて、いろんな効果的な使い方を試行錯誤しているという状況はあります。

○沼田委員

個人的な意見ですけども、こういうガジェットを使う時に容量が少ないのは、全く意味がないかなっていうふうに思っています、容量が少ないから使えない、使えないから使わないに、私は変換してってしまうんじゃないのかなっていうふうにも思います。あと私も書くことはすごく大事だと思っていますし、家になんでかんでタブレットを持ち帰って自主学習すればいいとは思ってはいないんですけども、授業の中でやっぱり取り入れていくことが、DX化じゃないですけども、データ収集とか、そういうのにとっても役立つと思うんですね。それがやっぱり教員の働き方改革に一番繋がってくるところだとは思っているので、使うところは使う。うちの子どもの学校の話になってしまうんですけども、全く使わない授業もあるらしいんですね。この授業に関しては絶対にタブレットを開かないっていう授業もあるみたいで、だからその先生はなんでかんで全部手作業でやってるんだろうなと思うと、なかなか大変じゃないのかなと思ったりしますので、何か使うところと使わないところのメリハリっていうのは、やっていった方がいいんじゃないかなと思います。

○瀧澤委員

私も同じ研修会について報告をします。去年も参加させていただいて、去年は規模適正について話し合い、各教育長や教育委員の方が意見をされていたのを、「そうだよ、去年はこうだったよな」なんて思い出しながら、今年も参加させていただきました。今年グループでテーマがあって、私のグループは、双葉支会、両沼支会の方と一緒に、PTAとその学校の関わり方について話し合いました。その他に、小さい子どもにYouTubeなどの動画を見せることについてグループで話題になりました。確かに孫を1、2時間みるのも大変ですが、小さいうちからそういったものを見せるのは、子どもの脳の発達にもよくないのではないかと、動画を使わずに、どう対応するのかが親の力の見せ所で、これからの課題でもあるといったことを話し合いました。それと、秋田の研修に参加したときに感じたことで、秋田の子どもたちの学習能力が高いのは、家庭に帰ってから結構勉強をされていて、勉強することによって、学校に行っても学習の理解度は深まるみたいなどころがあるんじゃないかなと思っていて、やはり家庭はすごく大事ですよっていう話を、その場でさせていただきました。こういった定例会もすごく勉強になりますが、研修会に参加して、他の地域の皆さんといろいろな意見を出し合いながら、少しの時間ですけど話しができるっていうのは、すごく教育委員としても何か勉強になりました。

○北條委員

学校教育課の報告事項の中で、教育支援委員会が度々行われていますけれども、この支援は何に対する支援なのでしょうか。

○学校教育課長

これは去年まで障害児就学指導審議会といった名称でしたが、就学児だけではなくて、その前からその後まで、幅広く支援していこうということで名称が変わりました。この教育支援委員会では、今までの審議会と同じように、この子どもさんが来年就学するに当たり、普通学級に進学するのか、それとも特別支援学級か、それとも特別支援学校かというような審議をする場です。

○北條委員

もう1点お聞きします。実は私、地域コーディネーターのおかげで、東中の英語の学習支援に9月からいかせていただいている、少しでも先生の手伝いをしようと思い、3回ぐらい授業のお手伝いをさせていただきました。

学校教育課の報告事項で、9月19日に第2回英語教員セミナーとありますが、このセミナーの内容について教えてください。

○学校教育課長

大きくいうと、今まで小学校は外国語活動、中学校は英語でやっているんですけども、先生方から取り組み方とか、効果的な授業の仕方とか、そういう話はもちろんありますが、今まで、例えば小学校の先生と中学校の先生が、それぞれどんなことをやっているのかということから、あまり理解していなかったということもあって、どちらかというワークショップ型で、例えば中学校区の先生が集まって話をするだとか、あとは同じ職種の小学校は小学校、中学校は中学校の先生方で、情報交換をしたりっていうふうに行っているの、受講者の声の中で一番多かったのは、お互いに理解できてよかった。例えば中学校の先生が、何で中学校に入って全然書けないんだって思っていたけれど、小学校では、そういう狙いではなくて、話をしてコミュニケーションをとるみたいなことが主になっていて、ですから、そういうことが理解できてとてもよかったっていう声もいただいています。

これは年3回行いますが、また新たにどういう課題があるかとか、そういうのを持ち寄って、さらに理解を深めて授業に活かすというようなセミナーになっています。基本的には毎回同じ先生に来ていただいて、そのスキルを高めていければいいかなというところがあります。中学校は英語の先生同士の交流はあるんですけど、なかなか小学校の横の繋がりがというのはないので、そういう情報交換をするということもありますし、先ほど申し上げましたとおり、小中学校でどんなことをやっているかが理解できたということも、一つ大きな成果になっているかなというふうに捉えています。

○北條委員

今課長がおっしゃったように、小学校と中学校の指導者内のそういうすり合わせというのができたのは、すごくよかったなと思っています。中学校で現場の先生の声も聞いたんですけども、小学校ではコミュニケーションを重視しており、中学校にきて書くことができているということなので、私は支援のときにはアルファベットを中心に、先生がとにかく授業を進めやすいように目を配っております。そういうセミナーが何回も行われることはとてもいいことだと思いました。ありがとうございます。

○教育長

これにて一般質問を終了いたします。

日程第7 その他

○教育長

次に日程第7その他に入ります。各課所の取組や課題などについて、ご意見、ご質問等がありましたら、この場で取り上げたいと思いますが、何かございますか。

○沼田委員

夏休みが終わりまして、よく夏休み終わった初日は、不登校の子が増えたりとか、自殺者が増えたりってということが話題になったりすると思うんですけども、今回白河市では、夏休み後に不登校とかになった子はいるのか。それと、そういった夏休み明けのことについての呼びかけはしているのかっていうことを、お伺いできればと思います。

○学校教育課長

不登校の人数については、9月でまとめて集計ということなので、今データを持っていないんですけども、大きな問題は今のところ教育委員会に入っていないということが一つと、もちろん呼びかけについては、夏休み入る前に校長会等で、それぞれの学校で注意すべきことということでお願いをしていますし、やはり夏休み明けの不登校、自殺が多いというのは、もう統計的にも出ていることではあるので、それについての取組みは、それぞれの学校でしていると思います。中学校は夏休みに部活をやっていますので、ちょっと休みがちな子どもがいれば、すぐに声をかけたりだとか、そういうこともしていますし、あと夏休み期間中に、なかなか学校に足が向かない子への声かけなんかも継続してやっているの、そういう取組みはしているところではあります。

○沼田委員

ありがとうございます。安心しました。白河の子どもたちが健やかに育てばいいなと思っています。

○高橋委員

先日の新聞に出ていた他市の学校栄養職員が給食費を切り詰めて横領した件についてですが、そんなことができることに驚いたんですけど、管理職がその表簿の点検をしないで放置していたっていうことにさらに驚きました。ありえないことだとは思いますが、各学校においても、子どもからお金預かって、集金して活動していくようなものとして、例えば部活動でもあったりすると思うんですけど、そういうものの監査とかについては、どういうふうに校長先生方に指示というか、お伝えしていくことになるのか、心配なところかなと思ったのですが、いかがでしょうか。

○学校教育課長

新聞にあったとおりの内容で、県教育委員会から通知がありましたので、9月27日に校長会がありますので、その事例をきちっと資料として出して、もう一度校長先生方には確認をするような、そういう指示はしたいなというふうに思っています。基本的に事務の先生に任せてしまっている、そういうことについて弱い部分は教員ってあるんですけど、管理職としては、やはりきちんと判子を押していると思いますので、しっかりと確認するように、もう一度念を押したいと思っています。

○瀧澤委員

秋田の研修会に参加したときには、大館市の教育長さんから講演をいただいて、たいへん勉強になりました。それと大信地域で青少年健全育成大会がありまして、今年は矢吹町の大杉教育長さんから講演をいただいて、矢吹町の今の取組みを聞いて大変参考になりました。どこの教育長さんの講演を聞いても、すごくいい話で、大変勉強になるなと思いました。

もしできるのであれば、毎年5月に福島県市町村教育委員会連絡協議会の西白河支会の総会と研修会がありますよね。白河市が事務局で、今年は東京第一ホテルで、西白河郡の教育長さん、教育委員さんが集まり、総会と研修会が行われたかと思います。せっかく西白河郡の教育長さん、教育委員さんが集まる場なので、例えば役回りで、各教育長さんから各地域の取組みとかそういう話を聞いてみたいなと思いましたので、そういう場でそういうことが可能であれば、どうかと思ひまして、あげさせていただきました。

○教育総務課長

西白河支会の研修会につきましては、毎年県南教育事務所長さんの講話をテーマに入れておりますけれども、確におっしゃったような各教育長さんの各地域の取組みですとか、そういった講話を聴くことも面白いのかなと思いますので、その辺は今後、そういったことができるかどうか、来年度に向けて各町村に提案していきたいと思っています。

○沼田委員

9月よりアプリのコドモンが導入されて、実際に使わせていただいているんですけども、

教育委員会からも直接配信があったりとか、何かとてもいいなと思いました。前は学校からの配信ってなかなかなかったのですが、修学旅行の写真など、今撮ったものをすぐにアップしてくれたりとか、かなり有効的に使われているみたいなので、教育委員会で導入してもらって本当によかったんじゃないのかなと思いました。ありがとうございます。

○学校教育課長

9月は試行期間ということで、今まで使っていたものとダブルで使っている学校もあるんですけど、そういう使い方もあったり、あと逆にもっとこうして欲しいっていうものも各学校から要望をいただいている、それはQ&Aにどんどん蓄積するような形になっているので、さらにこういう使い方も良いっていう紹介をしていきたいと思います。ありがとうございます。

○教育長

それでは「令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果及び考察について」の協議と、日程にはございませんが、教育委員会の職務権限にかかわる組織見直しの検討状況についての説明を行いたいと思いますので、これよりは非公開にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

○教育長

ご異議なしと認めます。よって非公開といたします。

(以下非公開)

○教育長

それでは、これで全ての日程が終了しましたので、以上で白河市教育委員会9月定例会を閉会いたします。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

【午後4時30分 閉会】